



児童の減少が心配される小学校



農地を守ろう

農業者の担い手対策について 関係機関と連携して支援します



森浦 繁 議員

農業の担い手対策について伺います。今後の農地放棄地の増加、米価の下落、担い手不足など、

ますます大変になっていきます。米地営農組合が今年度で解散とのことですが、新たな担い手は決まっていますか。

町長 コロナ禍の影響により外食産業の事業低下により米価は2年連続で値下がりし、農業所得の減少や、農業者の高

齢化や後継者不足による遊休農地の増加も懸念されています。佐津谷の農地保全については、これまでから幾度となく関係の皆様にお集まりを頂き、議論を重ねてまいりましたが、突然、令和3年の収穫作業の完了をもって米地集落営農組合が解散されることが報告されま



した。町内でも優良農地である地域農地の遊休化を回避するため、改めてJA・県関係機関・佐津谷地区の区長・農会等に集まっていたいただき、今後の在り方について話し合いを行い、この結果、大半の農地は地域の認定農業者、大規模農家により耕作が継承されますが、一部農地の継承が決まっています。

学校統廃合問題はどのようにするのか 令和4年の夏には計画を示します



岸本 正人 議員

第二期教育振興基本計画(案)、(令和4年～8年)では、「今後を見据えた修学前施設、小・中学校の適正配置の在り方を検討し、学校再編を推進する必要があります」

との記載がある。私はもっと前向きな案が出ると思っていた。がっかりである。再編の検討が進んでいなければ納得できない。何度も言うが、もはや危機的な状況に陥っているのが現実だと思う。再編の方向性・計画案はいつできるのか。

教育長 令和4年1月の中に、総合教育会議にはかつて、学校再編を推進

することを決定する予定です。現在の学校再編の進め方(3分の2以上の希望で進める)を改め、今後は教育委員会が再編計画を示して、保護者と地域の皆さんの理解を得ながら進める方向に見直すことを考えています。学校再編に絞った懇談会の開催を考えています。令和4年度の夏までには、計画が示せることになるかと今現在考えております。

